

令和5年度事業報告

内閣府によると、令和5年度の我が国経済動向は、コロナ禍の3年間を乗り越え、改善しつつあるとしています。30年ぶりとなる高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、経済には前向きな動きが見られ、デフレから脱却し、経済の新たなステージに移行するチャンスを迎えている一方、賃金上昇は輸入価格の上昇を起点とする物価上昇に追い付いていません。個人消費や設備投資は、依然として力強さを欠いています。こうした中、令和5年度、市工連では、各事業をコロナ禍以前に戻しつつ実施してまいりました。

まず、販路拡大支援のための工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ2024」については、本格的なリアル展示により来場者が増加し、加えてWebサイト内展示も実施し、利用者の利便性の向上を図りました。

人材確保支援では、高校生の採用支援のための「就職に関する懇談会」を実施するとともに、横浜市就職サポートセンターのインターンシップ事業へ協力しました。

第36回「新入社員合同研修」を帆船日本丸において、コロナウイルス感染防止のために取りやめていた宿泊を4年ぶりに実施するとともに、新入社員フォローアップ研修を実施し、人材育成に取り組みました。ものづくりへの理解を深めてもらうための出前講座と工場見学は、会員企業様のご協力で実施することができました。

会員企業の交流の場としては、新年賀詞交歓会をコロナウイルス感染拡大前に戻し開催するとともに、施設見学会を実施しました。

施設管理については、横浜産貿ホールで老朽化した誘導灯をすべて更新し、鳥浜T3でインターホン工事及び流しとホールの床材の張り直し工事を行いました。また、横浜産貿ホールについては、利用者がコロナ禍前と同程度となりましたが、利用日数や利用形態が縮小されました。

I ものづくり活性化事業

1 販路拡大事業

(1) 商談会の開催

- ア オール神奈川受・発注商談会2023（オンライン）
日 時 令和5年9月19日（火）～9月29日（金）
主 催 （公財）神奈川産業振興センター
後 援 神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市、相模原市、（一社）横浜市工業会
連合会 他
参加社数 270社（前年度：329社）
発注：67社うち横浜市内企業16社（前年度：90社／25社）
受注：203社うち横浜市内企業56社（前年度：353社／105社）
商談件数 344件（前年度：600件）
内 容 事前マッチングされた商談リストをもとに、主催者が用意したオンラインプラットフォーム上で参加企業同士が日程調整を行い、商談期間中に商談を実施
- イ 第16回九都県市合同商談会 in パシフィコ横浜2024
日 時 令和6年2月7日（水）12：50～16：50
会 場 パシフィコ横浜2F アネックスホール

主 催	九都県市合同商談会実行委員会 埼玉県／千葉県／東京都／神奈川県／横浜市／川崎市／千葉市／さい たま市／相模原市／(公財)埼玉県産業振興公社／(公財)千葉県産業振 興センター／(公財)東京都中小企業振興公社／(公財)神奈川県産業振興 センター／(公財)横浜企業経営支援財団／(公財)川崎市産業振興財団 ／(公財)千葉市産業振興財団／(公財)さいたま市産業創造財団／(公 財)相模原市産業振興財団
協 力	(一社)横浜市工業会連合会
参加者数	340 社 (昨年：202 社※受発注商談会横浜会場) 発注：113 社うち横浜市内企業 16 社(昨年：50 社／13 社※) 受注：227 社うち横浜市内企業 56 社(昨年：152 社／33 社※)
商談件数	851 件 (昨年：378 件※)
内 容	テクニカルショウヨコハマ 2024 と同時開催となった。

(2) 「テクニカルショウヨコハマ 2024」(第 45 回工業技術見本市)

ア 開催概要

- (ア) 開催期間 リアル展示：令和 6 年 2 月 7 日 (水) ～ 2 月 9 日 (金)
出展者 PR ページ掲載：令和 6 年 1 月 15 日 (月) ～ 2 月 16 日 (金)
- (イ) 会 場 リアル展示：パシフィコ横浜展示ホール A・B・C
出展者 PR ページ：公式ホームページ
- (ウ) 出展規模 807 社・団体 (リアル 800 社、Web サイト 7 社) (前年度：759 社・団体)
- (エ) 入場者数 18,176 人(前年度：15,827 人)
- (オ) 出展者 PR ページ アクセス者数 6,581 名
ページビュー数 759,853 ページ

イ 横浜ものづくりゾーンの開設

横浜市や各区が実施する中小製造業振興のための様々な施策の紹介や、その施策を活用した企業の技術を周知することを目的に、テクニカルショウヨコハマ 2024 に「横浜ものづくりゾーン」のコーナーを設け、団体として出展しました。

出展企業 73 社・団体 (前年度：61 社・団体 (オンライン))
(個別応募企業：19 社、メイドインつづき：25 社、横浜市販路開拓支援事業認定企業：4 社、横浜青年経営者会：10 社、港北オープンファクトリー 3 社、LINKAI 横浜金沢 10 社、行政関連：2 団体)

(3) 受発注相談 (電話・FAX・E メール等による受発注相談)

(4) 横浜ネットワークプラス (受発注情報システム) の運営

10 月からマッチング機能を中止し、受注企業検索ができるシステムを運営しています。

2 ものづくり人材育成支援事業

(1) 新入社員合同研修

企業の新入社員を対象に、講義やグループワーク、「帆船日本丸」における実践訓練を通し、新入社員のチャレンジ精神や協調性などを養い、企業の将来を託せる人材の育成を図りました。新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため中止していた、帆船日本丸への宿泊を 4 年ぶりに行いました。

- ア 日 時 令和 5 年 4 月 5 日 (水) ～ 6 日 (木) 1 泊 2 日
- イ 会 場 帆船日本丸及び同訓練センター
- ウ 参加者 10 社 32 名 (男性 28 名、女性 4 名) (前年度：12 社 41 名)

- エ 内 容 ① 船上訓練（甲板磨き、マスト登り、船首渡り、結索訓練）
指導者：日本丸船長、航海士、乗組員
- ② 講義、グループワーク
ビジネスマナー研修等を通し社会人としての意識を持つ
講 師：株式会社パワー・アイ 佐々木 富美子氏
- ③ 講義「帆船を用いた研修の意義」
帆船日本丸船長 村田 信氏

(2) 新入社員フォローアップ研修

入社後を振り返り、自分の強みや課題を客観的に認識し前向きなマインドを構築するとともに、他社の同年代の人たちと交流することを目的に、新入社員フォローアップ研修を実施しました。

- ア 日 時 令和6年2月21日（水）9：00～17：00
- イ 会 場 産貿ホール小展示室
- ウ 参加者 5社 7名（男性2名、女性5名）（前年度：8社 12名）
- エ 講 師 株式会社パワー・アイ 佐々木 富美子氏
- オ 内 容 ①入社後の自身の振り返り（自分の仕事の進め方の再認識）
②入社後の職場の振り返り（仕事の問題点の克服と共有）
③クレーム対応の実践（ビジネスマナーに基づく話し方の再認識）
④ハイポイントインタビュー（自身の強み、課題を客観的に認識）
⑤「信念の言葉化」、「自分なりの良い仕事」の意味づけの明確化

(3) 就職に関する懇談会の開催

高校生等の市内中小企業への就職を促進するため、県立高校等関係者と企業との就職に関する懇談会を横浜市、ハローワークとの共催で開催しました。

- ア 日 時 令和5年6月15日（木） 14：10～17：30
- イ 会 場 横浜産貿ホール1F マリネリア
- ウ 参加者 神奈川県立磯子工業高校 等 20校 37名（前年度：16校 26名）
会員企業等 57社 57名（前年度：48社 48名）
- エ 成果についてのアンケート
時期 令和6年2月（57社にFAX送付）
結果 回答45社、事後接触あり49件、うち採用内定予定あり9件
（前年度：事後接触あり50件、うち採用予定あり20件）

(4) ものづくりの魅力を伝える事業

ア 出前講座・工場見学の開催

神奈川県内の高校生及び職業技術校の訓練生に対し、企業の紹介、ものづくり産業・中小製造業の果たす役割や、中小企業が求める人材などをテーマに講座を開催、工場見学と一体で開催しました。

[第1回]

(ア) 実 施 校：神奈川県立東部総合職業技術校（横浜市鶴見区寛政町28-2）

(イ) 開 催 日：令和5年5月24日（水）9：20～11：55

(ウ) 参 加 者：20名

チャレンジプロダクトコース、セレクトプロダクトコース、精密加工エンジニア、溶接板金各コースの受講生20名及び担当教員5名、横浜市2名、事務局4名

(エ) 見 学 先：株式会社ニットー（金沢区鳥浜14-16）

(オ) 講 師：代表取締役 藤澤 秀行氏

(カ) 事業内容：軸受部品製造

[第2回]

- (ア) 実施校：神奈川県立翠嵐高校定時制（横浜市神奈川区三ツ沢南町1-1）
(イ) 開催日：令和5年10月3日（火）14：00～16：00
(ウ) 参加者：45名
神奈川県立翠嵐高等学校(定時制)1年～4年生26名、教諭13名、
通訳2名 横浜市1名、市工連3名
(エ) 見学先：日本貿易印刷株式会社（戸塚区上矢部町1968）
(オ) 講師：代表取締役社長 伊藤知之氏 他
(カ) 事業内容：ガソリンスタンドの効率化と集客を支援する、伝票やのぼり旗などの印刷を行う石油業界事業及び各種カード(銀行キャッシュカードや健康保険証など)の発行などの情報処理事業

[第3回]

- (ア) 実施校：神奈川県立東部総合職業技術校（横浜市鶴見区寛政町28-2）
(イ) 開催日：令和5年11月29日（水）9：50～11：40
(ウ) 参加者：30名
チャレンジプロダクトコース7名、セレクトプロダクトコース10名、
精密加工エンジニアコース5名、引率3名 計25名 横浜市1名、
市工連4名 合計30名
(エ) 見学先：昭和精工株式会社（横浜市金沢区福浦1-4-2）
(オ) 講師：代表取締役 木田 成人氏他
(カ) 事業内容：精密プレス金型設計製作、精密自動車部品・食品容器金型、精密治工具、試作部品

[第4回]

- (ア) 実施校：神奈川県立磯子工業高校（横浜市磯子区森5丁目24-1）
(イ) 開催日：令和6年3月21日（木）10：05～11：00
(ウ) 参加者：54名（就職を希望する1年生）
機械科17名、建設科10名、電気科22名、化学科5名
市工連2名 合計56名
(エ) 講師：8社
機械科：株式会社室伏製作所 代表取締役社長 室伏 守氏
株式会社景泉機器 取締役 落合 正浩氏
建設科：株式会社富士防 経営企画部 早川 真菜氏 他
大洋建設株式会社 執行役員副本部長 三浦 浩二氏
電気科：メルビック電工株式会社 取締役 田中 秀一氏 他
日本自働精機株式会社 代表取締役社長 田中 宏和氏 他
化学科：癸巳化成株式会社 取締役 畝木 五郎氏
横浜プレジジョン株式会社 代表取締役社長 鈴木 佳則氏
(オ) 内容：中小製造業に対する理解を深め、人材の確保と後継者確保を図るため、就職希望の1年生を対象に、高校で学んでおくべきこと、会社概要や企業の取組などについてお話しいただいた。（各社20分程度）

イ ものづくり企業紹介フェアの開催

ものづくり企業紹介フェアは、テクニカルショウヨコハマの開催2日目に、ものづくりや製造業に対する理解を深めるため、神奈川県内の高校生を対象に、中小企業経営者の講演会及びテクニカルショウヨコハマ見学会を実施していました。

今年度についても、期限までに1校も申込みがなかったため、趣旨を同じくする「ものづくり魅力発見研修 Think キャリア!～ものづくり編～」を(公財)神奈川産業振興センターと共催で実施しました。

(ア) 実施校：神奈川県立産業技術短期大学校(横浜市旭区中尾2-4-1)

(イ) 開催日：令和6年2月7日(水)10:00～15:00

(ウ) 会場：パシフィコ横浜展示場の会議室及び展示ホール

(エ) 事業内容：講義、グループワーク、展示会場見学

(オ) 参加者：85名

情報技術科1年生34名、電子技術科1年生23名、
生産技術科1年生10名、制御技術科1年生18名

(カ) 講師：昭和精工株式会社 木田 成人氏、木田 淳氏

株式会社クロステック 渡邊 直樹氏、小山 量輝氏

(5) 技術者育成支援事業

中小製造業者がその従業員に、技術水準の向上、技能・技術の承継を推進し、中小製造業者における人材確保及び人材育成に資することを目的として、業務上必要な技能検定資格取得のための受検料、受検対策で受講した講習会等の費用を補助金として交付しました。

補助金交付企業 4社

(6) 横浜市就職サポートセンター事業への協力

横浜市経済局雇用労働課が実施する「横浜市就職サポートセンター事業」に協力し、インターンシップ受入れを会員企業に呼びかけ、就職氷河期世代の雇用に結びつけました。インターンシッププログラムは年2回(6月、11月)の実施。

ア 求人企業数 39社うち市工連会員企業8社

イ 採用決定人数 50名うち市工連会員企業0社(前年度採用実績:2社2名)

その他、神奈川県主催の合同就職面接会に市工連会員出展枠を設けていただき、会員企業を優先して出展することができました。

II 産業振興施設の管理運営

1 横浜産貿ホールの管理・運営事業

横浜産貿ホール内の老朽化した誘導灯を全て更新しました。また、ファサードのTVモニターも15年ぶりに新型に入れ替え、動画などの再生も可能になりました。

利用状況は、コロナウイルス感染拡大前と比較してほぼ横ばいであるが、利用日数や利用形態が縮小されたため収入は減少しています。

2 試作用賃貸スペース(鳥浜トライ&トライアルステージ:T3)事業

鳥浜 T3 施設のインターホン工事を行い、訪問者に対して遠隔での開錠を行えるようにしました。また流しとホールの床材の張り直し工事を横浜市の補助を受け行いました。

利用状況については、入居が来年度に10年を経過する区画について再公募(A区画:令和5年12月～1月、BCD区画:令和6年3月～4月)を市工連HPで行い、A区画については入居審査会を書面にて開催し、継続使用が決定しました。

III 市工連及び地域工業会等の活性化

1 委員会の活動(総務、政策、事業・企画、広報・産学、雇用・環境の5委員会)

地域工業会代表が意見交換をおこない、課題解決に反映されるよう各委員会を開催しました。

5委員会の開催延べ回数:10回

2 基盤整備事業（産業振興に関する課題の掌握、提言、対応策の実施）

（1）横浜市と当連合会等との施策検討会の運営

横浜市の中企業振興策の立案・実施に向け、具体的かつ実効性の高い施策を検討・協議する施策検討会を開催しました。

（2）産業振興に関する提言、調査、研究

行政機関等の産業振興施策に反映されるよう、施策検討会を活用し、各地域工業会からの振興施策、企業経営及び立地環境の改善等に関する意見・要望を集約し、「令和6年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書」としてまとめ、横浜市長に提出しました。

ア 提出日 令和5年10月26日（木）

イ 場所 横浜市庁舎

ウ 出席者 横浜市長、経済局長、市工連会長、各地域工業会会長ほか

エ 要望書概要

（ア）大項目：①操業環境の改善、②販路拡大、③人材確保・育成、
④ものづくりの活性化に対する支援、⑤その他

（イ）重点要望事項 6項目 12件

（ウ）一般要望事項 14項目 34件

3 地域工業会・事業会の活動支援

11の地域工業会・事業会に対し、広報謝金・特例協力金・広報活動等補助金として計16万円と、合わせて会員数に応じて市工連協力謝金の助成を行いました。また、周年式典等を開催した鶴見区工業会・みなと工業会・磯子事業会・戸塚泉栄工業会に周年事業開催補助金10万円を交付しました。

4 横浜青年経営者会の活動支援

横浜青年経営者会への助成金として20万円を交付しました。

5 情報発信事業

（1）インターネットを活用した情報提供

ア ホームページの運営

イ メールマガジン「市工連ニュース」の配信

22回配信（令和5年4月3日第513号～令和6年3月15日第534号）

配信先 工業会会員等約1,900件

（2）機関誌等の発行

ア 機関誌「よこはま市工連」の発行

年間2回発行

令和5年7月（第88号）2,000部 / 令和6年1月（第89号）2,200部

イ 情報紙「市工連かわらばん」の発行

年間6回発行 各回2,000部配布

令和5年5月（第200号）から令和6年3月（第205号）まで奇数月発行

（3）一斉ファックス及びメールマガジンでの情報発信

全会員への周知のために、一斉ファックスやメールマガジンのツールを利用し、情報の発信に努めました。

6 すぐれたアイデア提案者表彰

各企業において、技術開発、生産性の向上、経費節減等で「すぐれたアイデア」を提案し、企業の発展に貢献した従業員を表彰しました。

被表彰者 3社 4件/4名 (9ページ「別表」のとおり)

7 会員企業の交流

会員企業同士の情報交換・交流の機会創出のために、施設見学会及び懇親会を実施しました。

また、地域工業会の枠を超えて委員会委員の交流を図る目的で開催していた委員会開催後の懇親会も実施しました。

(1) 廃プラスチックリサイクル工場の視察会の開催

日 時： 令和5年7月3日(月) 14:00~17:00

場 所： 株式会社グリーン 鳥浜工場

参加者： 28名

内 容： 横浜初の最先端技術を活用した廃プラスチックリサイクル工場を見学

(2) 神奈川県立東部総合職業技術校の視察会の開催

日 時： 令和5年11月14日(火) 14:00~16:30

場 所： 神奈川県立東部総合職業技術校

参加者： 14名

内 容： 訓練コースの視察および東部校への求人票の出し方説明

8 会員サービス事業

「災害共済」等、会員企業や従事者を対象とした各種福利厚生事業を行うとともに、本会独自のPL保険の加入促進を図りました。また、会員サービスの向上につながる団体割引等の取りまとめをしました。令和5年度は新たに「西武園ゆうえんち」の割引も加わりました。

IV 法人運営

総会、理事会、委員会等の開催など、団体運営に努めました。

1 総会、理事会、委員会等

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
4月19日 (水)	第1回 広報・産学 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・「よこはま市工連(第88号)」について ・広報関係の実績について ・ホームページについて ・その他 	産業貿易センタービル 小展示室
4月25日 (火)	第1回 政策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度横浜市に対する予算要望の回答について ・令和6年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書の策定について 	産業貿易センタービル 小展示室
5月17日 (水)	第1回 雇用・環境 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市地球温暖化対策実行計画について ・廃プラスチックリサイクル工場の視察会について 	産業貿易センタービル 小展示室
6月9日 (金)	第1回 総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度第1回理事会・定時総会の議案について ・令和5年度第2回理事会の議案について 	産業貿易センタービル 小展示室

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
6月27日 (火)	第1回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告 ・令和4年度決算報告 	ホテルメル パルク横浜
6月27日 (火)	総会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告 ・令和4年度決算報告 	ホテルメル パルク横浜
6月27日 (火)	第2回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度市工連委員会の委員 	ホテルメル パルク横浜
8月2日 ～ 8月23日	施策検討会	地域工業会委員16人、政策委員5人、 横浜市係長職以下2人、IDEC3人	産業貿易センタ ービル小展示室 シルクセンター 中会議室 シルクセンター 大会議室
9月27日 (水)	第2回 政策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度施策検討会の報告について ・令和6年度横浜市予算に対する産業振興に 関する要望について ・その他 	シルクセンター 中会議室
10月4日 (水)	第1回 事業・企画 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業について ・施設見学会の開催について 他 	シルクセンター 中会議室
10月20日 (金)	第2回 広報・産学 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・「よこはま市工連（第89号）」について ・広報関係の実績について ・よこはま市工連40周年記念誌について 他 	シルクセンター 小会議室
2月15日 (木)	第2回 雇用・環境 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業について ・令和6年度新規事業について ・その他 	産業貿易セ ンタービル 小展示室
2月26日 (月)	第2回 事業・企画 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業について ・令和6年度事業について ・その他 	産業貿易セ ンタービル 小展示室
3月13日 (水)	第2回 総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度第3回理事会・総会に諮る議案の 確認 ・その他 	産業貿易セ ンタービル 小展示室
3月26日 (火)	総会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度事業計画（案）について ・令和6年度予算（案）について ・市工連設立40周年記念事業について ・その他 	産業貿易セ ンタービル 8階会議室
3月26日 (火)	第3回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度事業計画（案）について ・令和6年度予算（案）について ・市工連設立40周年記念事業について ・その他 	産業貿易セ ンタービル 8階会議室

2 新年賀詞交歓会

広く情報交換ができるよう、地域工業会会員企業に参加の呼びかけを行いました。

日 時 令和6年1月9日(火) 16:00~17:30

会 場 ロイヤルホールヨコハマ

参加者数 160名

3 地域工業会・事業会 事務局長会議

4月18日、5月16日、6月20日、7月18日、9月19日、10月17日、11月21日、12月19日、2月20日、3月19日の10回、会議を開催し情報伝達等を行い、市工連と地域工業会との情報交換・連携を図りました。

別表

第40回すぐれたアイデア提案者表彰
被表彰者とアイデア

(会社名 50音順・敬称略)

(3社 4件/4名)

No	企業名	所属 氏名	アイデアの名称 成 果
1	海洋電子工業 株式会社	整備部整備4課 盛谷 篤	自衛艦に搭載される機側操縦盤の作業効率改善
2	海洋電子工業 株式会社	技術部設計2課 柁津 拓哉	通信管制装置のデータベース変更作業効率化
3	竹澤工業 株式会社	製造・工務グループ 黛 勝明	CNCフライス盤のガード改造による加工範囲拡大で外注費を低減
4	株式会社 吉岡精工	生産部製造 眞邊 理紗人	不具合発生事象の統計分析による不良工程の撲滅